

## 健康診断及び金属アレルギー検査項目

健康診断	
項目	胸部レントゲン
	心電図
	血圧
	採血（下記の採血検査項目を参照）

金属アレルギー検査	
項目	コバルトクロム
	ニッケル
	スズ
目	チタン
	水銀

※金属アレルギーをお持ちの方は金属アレルギー検査をご受診ください。  
ご自宅周辺の皮膚科にて検査項目の取り扱いが無い場合は、可能な範囲で検査をお願い致します。  
但しチタンを取り扱っている医療機関は多くありませんので、出来る限り総合病院をご受診ください。

### 採血検査項目

検査項目	正式名称	基準値	単位	説明
CK	クレアチンキナーゼ	♂52~192 ♀42~135	IU/l	筋肉組織、細胞の障害を反映する事から、各種疾患の診断や治療効果の判定、予後判定に重要です。検査の前日、前々日に運動などをしても値は高くなる場合があります。
T-BIL	総ビリルビン	0.1~1.2	mg/dl	肝機能検査の一つで、肝機能や赤血球の破壊の亢進(溶血)を知る事ができます。
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	12~35	IU/l	心筋、肝臓などに多く存在し、これらの臓器の病変を反映することから疾患の有力な目安として使用されます。
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ	6~40	IU/l	肝細胞の障害を鋭敏に反映するため肝臓・胆道系疾患の有力な指標となります。
γ-GTP	γグルタミルトランスフェラーゼ	0~48	IU/l	肝臓・胆道系の一般的検査で、これらの疾患をいち早く知るために実施されます。
ALP	アルカリホスファターゼ	115~359	IU/l	肝臓・胆道系、腎臓、小腸、骨などの病態を知るために実施されます。骨の成長が盛んな子供や妊婦さんでも高値となります。
TP	総タンパク	6.4~8.3	g/dl	肝機能や病態診断の補助、栄養状態を確認する為に実施されます。生体内のタンパク異常の一般的検査の目的で実施されます。
BUN	尿素窒素	7.4~19.5	mg/dl	腎機能の障害の程度、タンパク質や水分の摂取状況などを確認をする為に実施され、盛夏や厳冬の影響で高値になる事があります。
CRE	クレアチニン	♂0.5~1.2 ♀0.4~1.0	mg/dl	腎機能の排泄機能を見る検査で、腎障害の指標となります。
UA	尿酸	♂3.2~7.0 ♀2.3~7.0	mg/dl	腎機能、痛風のチェックとして実施されます。血球が増える疾患のチェックとしても実施されます。
Na	ナトリウム	135~147	mEq/l	体液水分量の平衡状態を知る目的で実施されます。血清浸透圧の増減を知る目的としても実施されます。
K	カリウム	3.4~4.8	mEq/l	浸透圧および酸塩基平衡の調節に関与しています。
Cl	クロール	98~110	mEq/l	Na・Kとの相互関係の下で、水分平衡、浸透圧の調節、酸塩基平衡の調節などの確認の為に実施されます。
GLU	血糖	70~110	mg/dl	糖尿病診断および経過観察の確認のために実施されます。食事の影響を受けますので採血時には医師の指示に従ってください。
T-Cho	総コレステロール	150~220	mg/dl	高脂血症の診断に用います。また、動脈硬化の危険因子としての一般的検査としても用います。
TG	中性脂肪	50~149	mg/dl	脂質代謝異常の確認として実施されます。原因の大半が食事の摂り過ぎ、運動不足、飲酒にあるとされています。食事の影響を受けますので採血時には医師の指示に従ってください。
WBC	白血球数	30~97	×10 <sup>3</sup> /μl	細菌などの異物を攻撃し、生態防御機構に関わる細胞です。
RBC	赤血球数	♂394~542 ♀358~498	×10 <sup>6</sup> /μl	血液の主な細胞成分です。
Hb	ヘモグロビン濃度	♂13.1~17.6 ♀11.0~15.6	g/dl	赤血球に含まれる成分で、酸素を肺から全身へ運搬する働きをします。
Ht	ヘマトクリット	♂38.1~50.8 ♀34.2~45.3	%	一定の血液量に含まれる赤血球の割合を表したものです。
MCV	平均赤血球容積	84.6~100.6	f l	一つの赤血球の平均容積を表したものです。
MCH	平均赤血球ヘモグロビン量	28.0~34.6	Pg	一つの赤血球に存在するヘモグロビン量を平均的に表したものです。
MCHC	平均赤血球ヘモグロビン濃度	31.6~36.0	%	一つの赤血球に存在するヘモグロビン濃度を平均的に表したものです。
PLT	血小板数	12.4~30.5	×10 <sup>3</sup> /μl	止血作用に関わる細胞です。